

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	応用英語1	
科目基礎情報							
科目番号		4A01		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		機械工学科		対象学年		4	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		raise 4 SECOND EDITION 総合問題集（Daiichi Gakusyusya）、速読プリント					
担当教員		金城 博之					
到達目標							
1. 基本的な語彙・表現で書かれた300語程度の英文を読み、辞書を引かずに大意を理解できる。 2. 音のつながりや英語のリズムに慣れ、日常会話レベルのリスニング力を身につける。 3. テキストで使用されている語彙、文法、構文を習得する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
速読		平易な英文を毎分100語程度の速度で読み、理解できる。		300語程度の平易な英文を読んで質問に答える作業を10分以内にできる。		300語程度の平易な英文を読むのに20分以上かかり、質問に正しく答えることができない。	
リスニング		テキストのリスニング問題で80%以上正解できる。		テキストのリスニング問題で60%以上正解できる。		テキストのリスニング問題で正解率が50%以下である。	
語彙、文法、構文		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の80%を習得する。		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得する。		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		これまでに習得した語彙・文法・構文の知識を確認しながら、様々なトピックの英文を読み理解する力と、日常会話レベルのリスニング力をつける。					
授業の進め方・方法		授業は教科書に沿って進める。リスニングはディクテーション・ノートを使って復習しておくこと。授業の初めに前回の授業で学習した内容の確認を行う。 語彙強化のために、NetAcademy PowerWordsコースの一部を課題として課す。					
注意点		評価基準：60点以上を合格とする。（配分：中間試験45%、期末試験45%、NetAcademy 10%）再試は必要に応じて実施する。 準備学習：前回の授業で学習した範囲の語彙や文法事項について、不明な点がないか確認しておくこと。ディクテーション・ノートは自学すること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の内容と学習の仕方を理解する。		
		2週	Lesson 1 文法：時制 読解：財布の持ち主を見つける		最も基本的な文で使用される動詞の時制の基本が理解できる。		
		3週	Lesson 2 助動詞 読解：なんじ自身を知れ		助動詞を用いて動詞に意味を加えることができる 助動詞＋have＋過去分詞の意味を正確に理解する		
		4週	Lesson 3 受動態 読解：風の原因		受動態が使用される場面を理解できる。 能動態から受動態に変換できる。		
		5週	Lesson 4 不定詞 読解：ドーナツをめぐる争い		不定詞を中心とした構文を書くことができる。		
		6週	Lesson 5 動名詞 読解：嘘つきは許されるか		動名詞を用いた慣用句を活用できる。		
		7週	Lesson 6 分詞 読解：文化による時間認識の違い		分詞構文を書くことができる。 付帯状況のwithを理解し、書くことができる。		
		8週	中間テスト				
	2ndQ	9週	Lesson 7 比較 読解：森林は新薬の宝庫		原級・比較・最上級を用いた慣用表現を理解できる。		
		10週	Lesson 8 関係詞 読解：雲が浮く理由		前置詞＋関係代名詞の文を理解でき、2つの文に分けることができる。		
		11週	Lesson 9 仮定法 読解：ナスカの地上絵		ifを用いない仮定法が理解できる。		
		12週	Lesson 10 名詞・監視・代名詞 読解：固定観念について		用法を誤りやすい名詞・冠詞・代名詞を注意して理解する。		
		13週	Lesson 11 形容詞・副詞 読解：ボランティア活動をしませんか		数・量を表す形容詞を理解する。		
		14週	Lesson 12 接続詞・副詞 読解：ラクダ図書館		群前置詞の用法を理解できる。		
		15週	Lesson 13 否定 読解：便利さの弊害		二重否定、否定語を含まない否定表現を理解できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合			
	試験	課題	合計
総合評価割合	90	10	100
基礎的能力	90	10	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0